

## 産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 21日

神奈川県知事 殿

## 提出者

住 所 神奈川県足柄上郡開成町吉田島500

氏 名 日本製紙クレシア株式会社 開成工場  
取締役工場長 小菅 幸男

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0465-83-2311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業 場 の 名 称	日本製紙クレシア株式会社 開成工場			自 主 管 理 事 業 登 録 番 号 ( 1009 )
事 業 場 の 所 在 地	神奈川県足柄上郡開成町吉田島500			TEL(連絡先): 0465-83-2311
計 画 期 間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日( 1 年間)			
当該事業場に関する事項				
① 事業の種類	E14-パルプ・紙・紙加工品製造業 (具体的には) 1423-機械すき和紙製造業			
※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	16,134 百万円	
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円	
	医療機関	病床数	床	
	その他の業種	売上高	百万円	
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)				
③ 従業員数	153			
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	イ.汚泥…事業所内にて脱水を行い、その後グループ会社内にて製紙原料として使用。 ウ.廃油…中間処理業者において自社燃料化として再利用。 カ.廃プラ…中間処理業者において再生原料化、一部は熱エネルギーとして再利用。 キ.紙くず…中間処理業者において古紙原料化、一部は熱エネルギーとして再利用。 ク.木くず…中間処理業者において再生原料、再生燃料として利用。 ス.金属くず…中間処理業者において全て再生利用。			
※ 産業廃棄物の種類ごとに記入				

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

環境管理委員会 ⇒ 廃棄物委員会 ⇒ 各部門管理担当者

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和 5 年度)実績】			
産業廃棄物の種類数	6	種類	* 種類ごとの前年度排出量 は、別紙のとおり。
① 排出量	5,485.8	t	
(これまでに実施した取組)			
① 現状			
①汚泥発生量を削減する為、流出原料の微細纖維を系内に戻す対策を実施。 また、安定した水分管理を実施中。 ②工程内で原料化できない損紙、紙粉の有効利用の推進を図っている。 ③廃棄物分別の強化を行い、廃棄物発生率の削減と再生利用率の向上を目指している。			
【(令和 6 年度)目標】			
産業廃棄物の種類数	6	種類	* 種類ごとの本年度排出目 標量は、別紙のとおり。
① 排出量	5,431.1	t	
(今後実施する予定の取組)			
② 計画			
①生産効率の向上を図り、廃棄物発生率の削減を目指す。 ②リユース品の削減を図り、廃棄物量の削減を目指す。 ③廃棄物の有効利用先の開拓を継続し、再生利用率のアップを図る。			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
① 現状	①廃プラスチック(8種類)、②紙くず(8種類)、③金属くず(6種類)、④汚泥(2種類)、⑤木くず、⑥廃油、⑦ガラスくず(3種類)、⑧電気くず(2種類)、とそれぞれ分別回収を行っている。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  現状の分別方法を継続する。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和 5 年度)実績】	
②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t
(これまでに実施した取組)	
なし	
【(令和 6 年度)目標】	
②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t
(今後実施する予定の取組)	
なし	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和 5 年度)実績】	
⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4,251.5 t
(これまでに実施した取組)	
製紙汚泥については、事業所内で脱水処理を実施。	
【(令和 6 年度)目標】	
⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	4,209.0 t
(今後実施する予定の取組)	
製紙汚泥については、事業所内で脱水処理を実施。	

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和 5 年度)実績】	
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t
(これまでに実施した取組)	

① 現状  
なし

【(令和 6 年度)目標】	
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t
(今後実施する予定の取組)	

② 計画  
なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項	
【前年度(令和 5 年度)実績】	
⑩ 全処理委託量	1,234.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,197.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	36.6 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
(これまでに実施した取組)	
事業所内で原料化できない紙くずなどを原料として委託処理を実施。	

【(令和 6 年度)目標】			
② 計画	⑩ 全処理委託量	1,222.1	t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,185.8	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	36.3	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t
(今後実施する予定の取組)			
引き続き再生利用率の向上を図る。			
※ 事務処理欄			

\* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。

## 備考

- 1 この様式は、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。

また、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあっては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和6年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

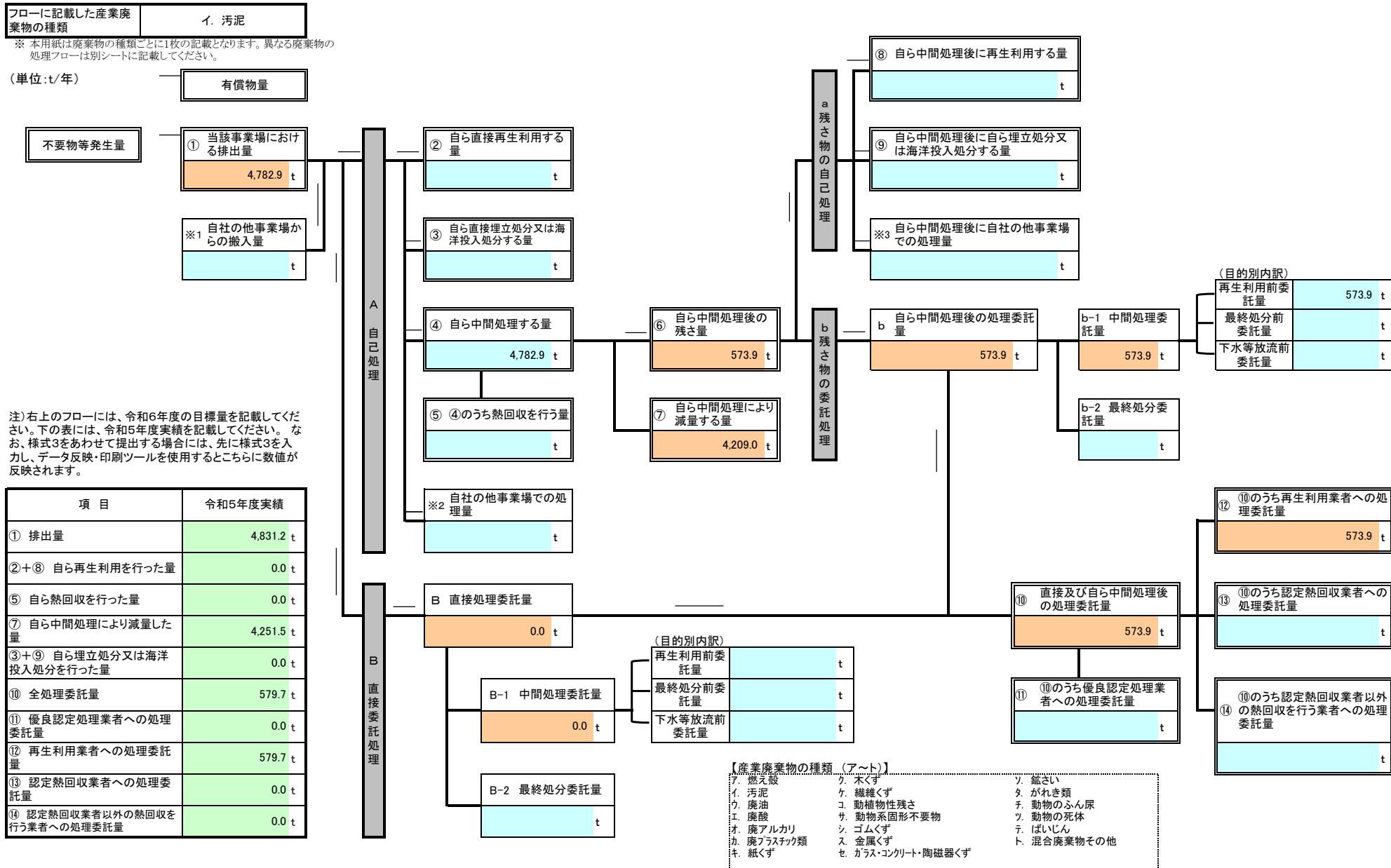
産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称 : 日本製紙クレシア株式会社 開成工場

別紙処理フロー

## 令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



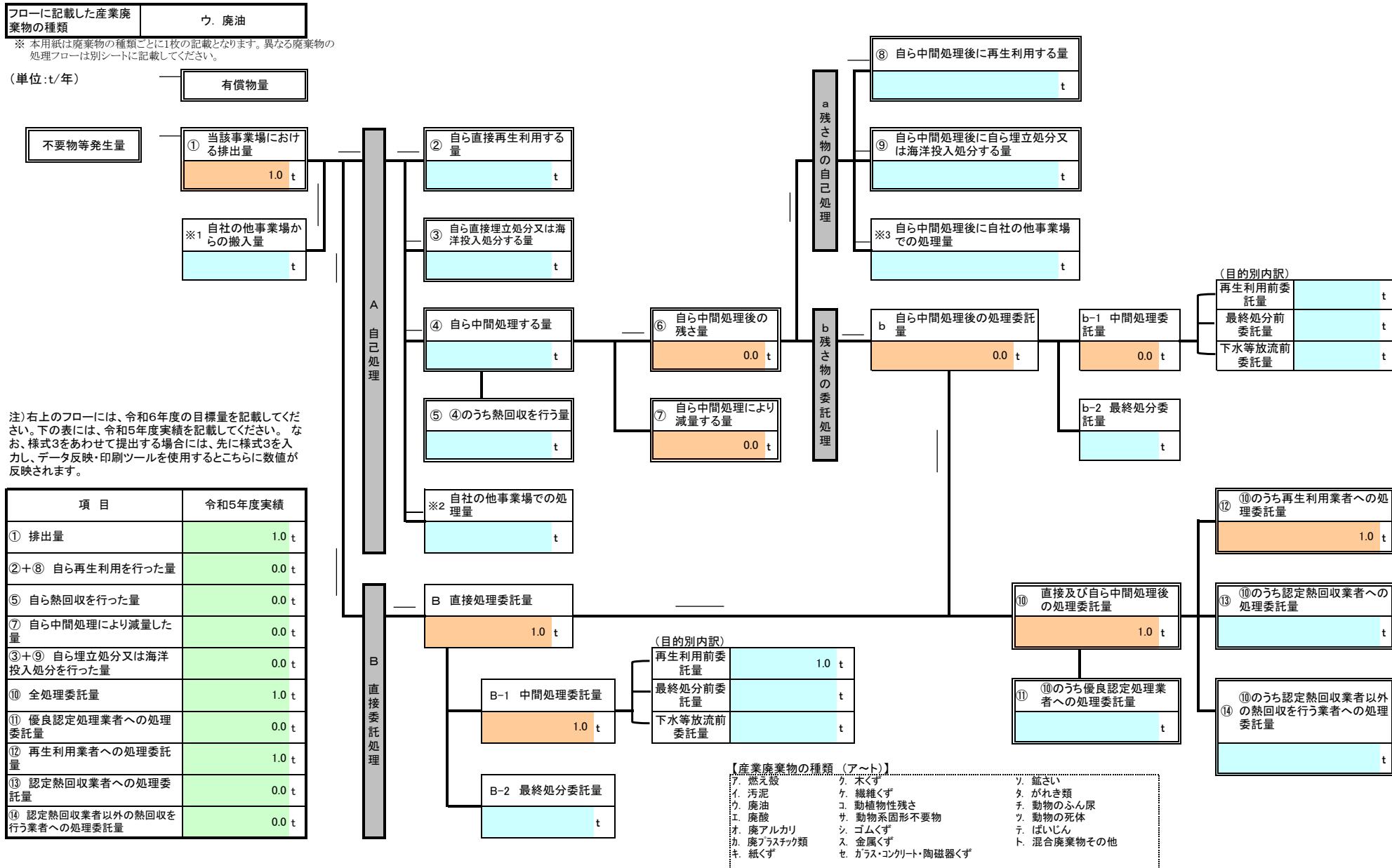
## 産業廃棄物処理計画書

2-2	法定 ○	自主
-----	---------	----

事業場名称 : 日本製紙クレシア株式会社 開成工場

## 別紙処理フロー

## 令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



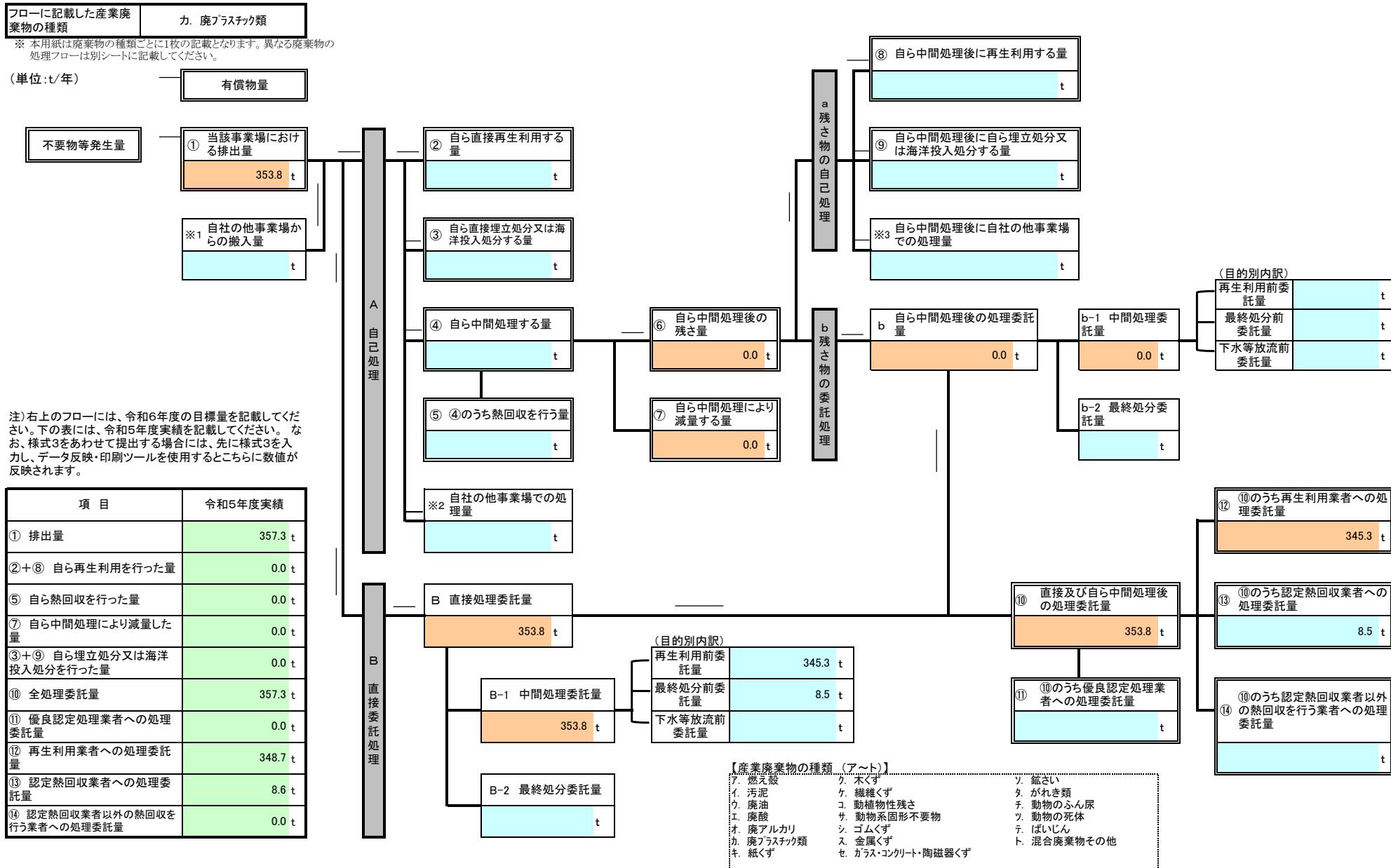
産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称 : 日本製紙クレシア株式会社 開成工場

別紙処理フロー

## 令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



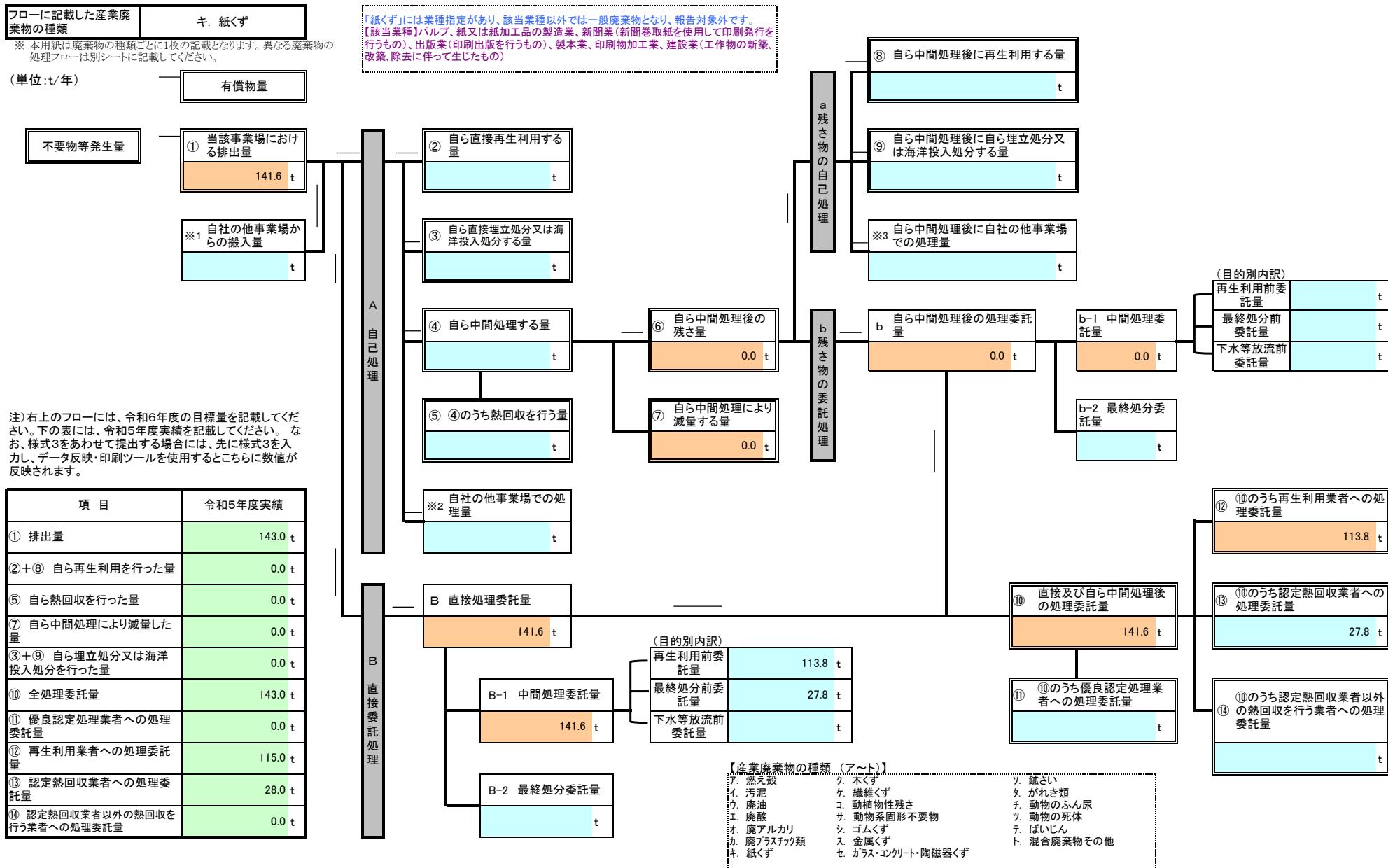
産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称 : 日本製紙クレシア株式会社 開成工場

別紙処理フロー

## 令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



産業廃棄物処理計画書

法定  
○  
自主

事業場名称 : 日本製紙クレシア株式会社 開成工場

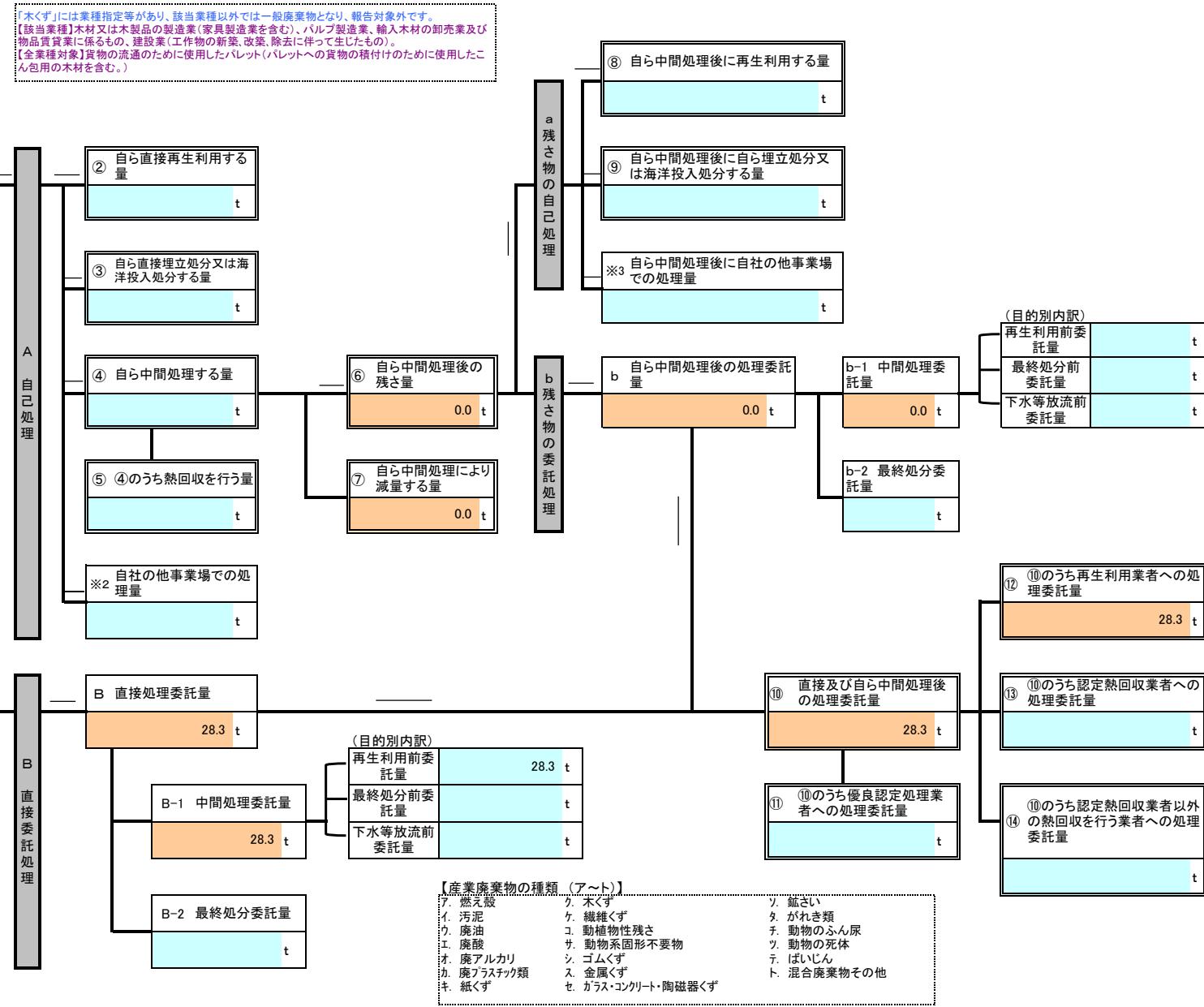
別紙処理フロー

## 令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ク. 木くず
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	
(単位:t/年)	→ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有償物量</span>
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">不要物等発生量</span>	→ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">① 当該事業場における排出量</span> <span style="background-color: #f0e68c; border: 1px solid black; padding: 2px; float: right;">28.3 t</span>
※1 自社の他事業場からの搬入量	
<span style="background-color: #d0e0ff; border: 1px solid black; height: 20px; display: block;"></span> t	

注)右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	28.6 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	28.6 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	28.6 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



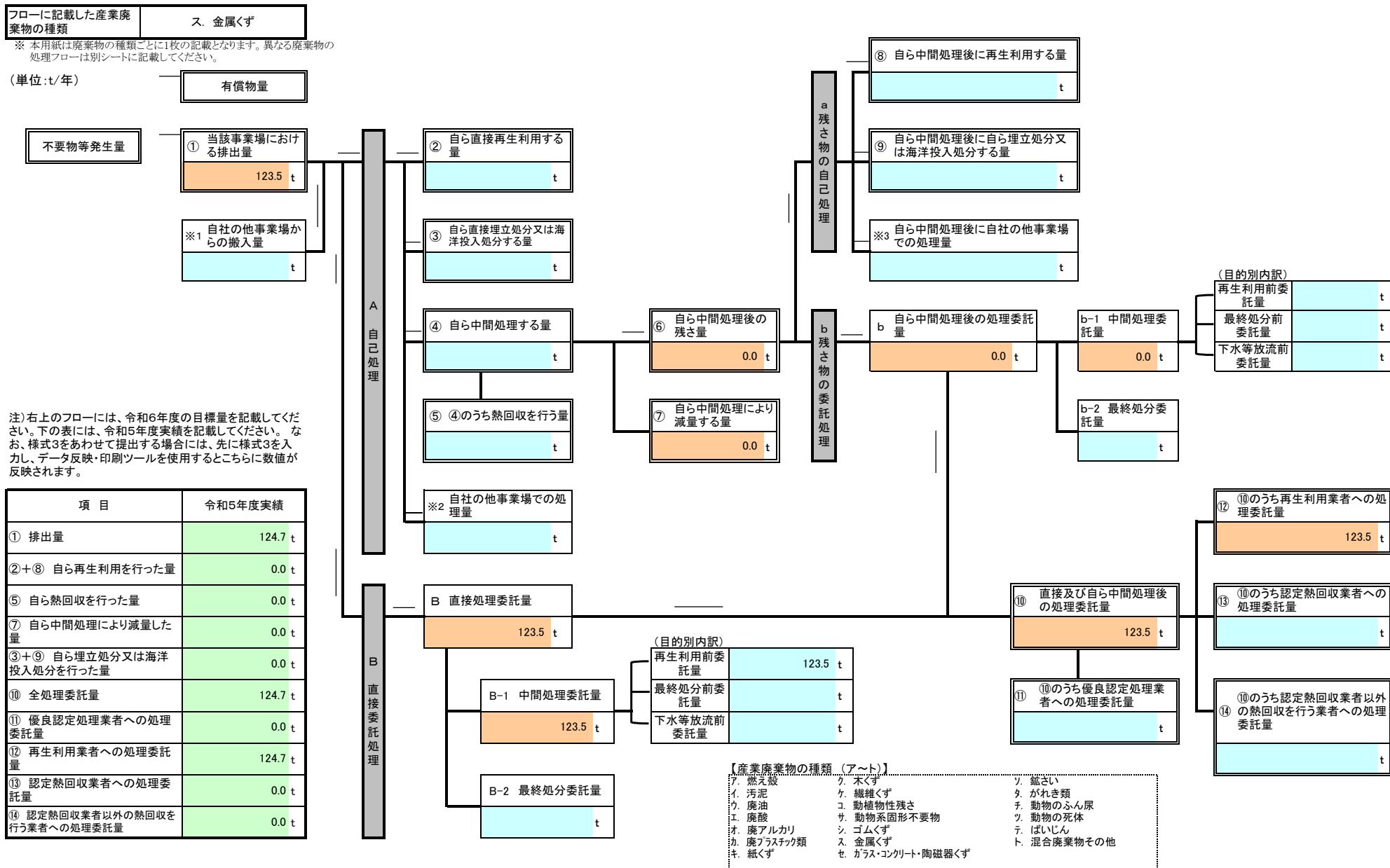
## 産業廃棄物処理計画書

2-2	法定 ○	自主
-----	---------	----

事業場名称 : 日本製紙クレシア株式会社 開成工場

## 別紙処理フロー

## 令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



産業廃棄物処理計画書

2-1	法定 ○	自主
(単位:トン)		

別紙一括表

事業場名称：日本製紙クレシア株式会社 開成工場